

新春のお喜び申し上げます

新年明けましておめでとうございます。

当工房も早いもので、今春 7 度目の春を迎えます。

こうして新しい年を嬉しく迎えられるのも当工房の運営主体の尼崎障害者センターの会員の皆様をはじめ、障害者関連団体の皆様、登録・友人所員の皆さん、そしてスタッフの家族、ヘルパーの方々のご協力やご支援あつてのことだと思ひ、心よりお礼申し上げます。

昨年は、熊本地震、鳥取地震、そして私たち障害者にとって決して忘れられないほどの痛ましい事件になってしまった相模原事件と何だか気持ちが沈んでしまいそうな暗いニュースばかりでした。

それらの一つひとつのニュースから改めて「南海トラフ地震」に対する防災意識や防災計画を見直したり、「障害者差別」について見つめ直したり、考え直すことができた一年でした。

また、当工房においては、所員・スタッフの日々の努力や頑張りがあって、尼崎市と尼崎障害者情報ネットワークからの委託を受けて、サイトのモニタ・管理業務を行っている Web サイト「市民活動の広場あまがさき」では、年々サイトのアクセス数が増えつつあります。

「尼崎市内のイベント情報を検索するのなら、あのサイトが色んなイベント情報が多く掲載されているからいい」と多くの市民の方々から好評頂いています。

それも市内 15 ヶ所の公民館でのチラシ集めやデータ入力などの地道なモニター業務を日々こなしてきた所員さんの工賃仕事の結果だと思ひ、うれしい限りです。

カレンダーやポストカードなどのオリジナル自主製品の制作・販売においては、当工房のイラストレーターの Aya さんの頑張りのもあって、少しずつですがデザイン性があるイラストカレンダーを作れるようになり、昨年も有り難いことに 250 以上の注文を頂き 12 万円を越える売り上げがありました。

近日中に、木口財団様からの補助金で業務用のカラーレーザープリンターを購入することもあって、カレンダー作りを始めたときからの願望だった光沢紙仕様様の A3 サイズの壁掛けカレンダーや、和紙を使った便せん・封筒などの新製品を手かがけていくことを考えています。

それに並行して、より良いカレンダーなどの製品作りや工賃仕事をしていくためにも、Word・Excel などのパソコン基礎技術はもちろん、イラストレーターやホームページ作成などの研修にも力を注いでいきたいと思っています。

3 年後 2020 年の工房設立 10 周年を見すえて、所員さんと共に日々成長できればと思っております。本年も昨年と変わらぬ、ご支援・ご愛顧頂けますようよろしくお願い申し上げます。

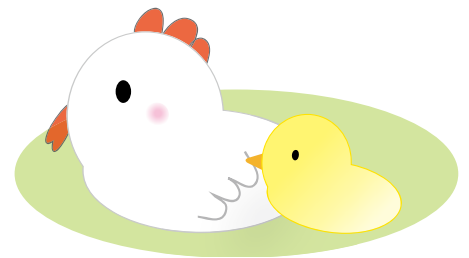
地域活動支援センターパソコン工房チャレンジ スタッフ一同

1 月・2 月の予定

1/17(火) 1.17 を忘れない防災訓練
大庄中学校
13:00~15:00
広瀬・曲参加

2/4(土)~2/5(日) モノづくりの絆市
キューズモールあまがさき
10:00~16:00

※当工房のオリジナル製品、イラストカレンダー、ポストカード、和紙の便せんを販売する予定です。



クリスマス会しました・・・

先月、年の瀬26日に、1日遅れの忘年会を兼ねたクリスマス会をしました。



今年度、色んな事情が重なってあまりレク活動もできなく久しぶりのレク活動になりました。

久しぶりのレク活動だったので、6名の所員さんの参加があり、嬉しいことに飛び入りで友人所員さんや地域の方の参加がありました。

当日司会進行役を務めていた浦部さんの乾杯の音頭ではじまり、ビールやお寿司などの軽食を挟みながら、所員さんやスタッフで「今年1年の反省と来年の抱負」など一人ずつ語り合いました。

「Wordは、演習問題までやり終えたから、まあまあWordは身についたと思うから、来年はExcelを極めていきたい」「来年こそは、Excelの試験にチャレンジしたい」と言う人も。中には、「来年は、自分史をたどる旅がしたい」という所員さんもおられました。

その後、クリスマスケーキをみんなで美味しく頂き、今や工房のクリスマス会恒例イベントになってるUSBメモリーやパソコンクリーナーなどのパソコン用品、生活雑貨をかけたのビンゴゲームをしました。

みなさん「リーチ」や「ダブルリーチ」までいくものの、なかなか「ビンゴ」にならずに「今度は何番の玉ができればいいのになあ・・・」と笑いながら言われていた所員さんもいました。

所員さんからのお菓子や手作りのいなり寿司の差し入れがあったり、笑い声もあつたりで、心身ともに暖かまるクリスマス会になりました。



コンピュータ温故知新 ～偽セキュリティソフト詐欺ってご存知ですか～

最近アダルトページでのワンクリック詐欺やネットバンキングでのフィッシング詐欺などとともに、新たに「偽セキュリティソフト詐欺」が出回っているようです。

偽セキュリティソフト詐欺とは、ネットにつなげたときに警告音とともに「あなたのパソコンのウイルスに犯されています」と偽のエラー表示をさせて、「エラーを解決するためにコールサポートセンターに連絡するように」と偽のセンターに誘導し、パソコンIDとメールアドレスを不正に聞き出し、ウイルスソフトを遠隔操作で入れたり、「このパソコンはサポートを定期的には受けないと使えなくなる」と言って、月に何万円のサポート料金を永遠にだまし取るネット詐欺です。

ネット詐欺に合わないためには・・・

①知らない宛先から届いたメールアドレスのメールは、開かずそのまま削除してください。

メールの中にウイルスが入っている危険性もあります。

②ウイルスソフトは必ず入れてください。

パソコンにウイルスソフトを入れてないこと＝夜自宅の鍵を閉めずに玄関を開けて寝ることに相当します。

工房でも愛用している「アバスト」<https://www.avast.co.jp>という無料のセキュリティソフトを入れる方法もあるので、スタッフにご相談下さい。

③パソコンが固まったり、偽セキュリティソフト詐欺を疑うエラーメッセージが表示されても、焦ってパソコン画面のボタンをクリックせず、一回再起動するか、電源ボタンを長押しして強制終了してください。

ファイルを整理したり、「デフラグ」というパソコンの掃除をすれば、パソコン本体内部が軽くなり、パソコンの動きもスムーズになる場合もあります。スタッフに質問ください。